

予算の執行とその概要

平成28年度の国の予算編成においては、強い経済を実現するとともに財政健全化を平成32年度までに達成することを目標に、「デフレ・脱却・経済再生」、「歳出改革」、「歳入改革」を三本柱とした、「経済・財政再生計画」に基づき「公的サービスの産業化」、「インセンティブ改革」、「公共サービスのイノベーション」に取り組み、重点課題である歳出改革を着実に推進しようとするものでした。

しかしながら、日本の経済再生に向けた「三本の矢」を一層強化した「新・三本の矢」である「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の推進により雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費及び民間設備投資は所得・収益の伸びと比べて力強さを欠いた状況、また、少子高齢化による人口減少問題など、依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況にあって、本市においては、引き続き「過疎対策事業（ソフト事業）」の活用を図りながら、地域の活性化や雇用対策、市民生活の安定化、将来のまちづくりにおいて成長力を高める施策など、持続性、独自性、発展性の観点から必要とされる事業に加え、消防・救急無線デジタル化事業、子育て世代の経済的負担軽減に向けた医療費無料化制度の拡大など、安全安心なまちづくりと市内経済の活性化の実現を目指し、各種事業を展開するための予算を計上しました。

予算の執行に当たりましては、「第5次芦別市総合計画・実施計画」の目標達成に向けた施策を推進するとともに、「芦別市行財政改革推進計画」による効率的な行財政運営に意を用いながら、地域の活性化と雇用の確保、生活環境の向上、地域の振興に資する社会資本整備事業（公営住宅整備、道路・河川整備、森林環境保全整備、教育施設整備）や福祉・医療・教育の充実に鋭意努めてまいりました。